

大学図書館問題研究会 京都支部報 No. 4

1979. 5. 2
京都市左京区吉田本町
京大経済学部図書館

■ 第1回 例会ひらかれる

1. 最近の大学図書館の動き

報告者 田中禮二(京大)



2. 大学図書館の利用問題

報告者 若井 勉(位命大)

2月24日(土)(pm. 1:30~4:30) 京都教育大学において、第1回の大函研京都支部の研究例会がひらかれました。京都支部の参加の各図書館の会員と学生(京大)が13名集まり、順調にスタートしました。

第1部は、京大の田中氏により、特に国立大学を中心に進みつつある図書館へのコンピュータ導入の動き、それらが及ぼす影響等について報告されました。図書館の機械化とめぐる大学図書館の内外の動きが特に最近活発化してきたこと、また、それらの真の目的がどこにおかれているか、筑波大学を中心とした機械(コンピュータ)による情報処理の実験例や応用についての紹介もいくつか出されました。

コンピュータ導入の賛否両論が今日各界各層にわたり、内容の点についてもピンからキリまで出まわっている情勢にあつて、**討論**の中で出された問題をいくつかあげると：

- (1) 今日の機械化導入に対する文部省の政策，受入側の体制，直行状況を正確につかむこと，また，
- (2) コンピューターについて，図書館員が消極的な姿勢にならず（機械化何でも反対！ではダメ！），勉強・研修をしてきちんと対応すること
- (3) 機械化全般に対して，未だまだ，情報やデータ不足で，知らない者どおしの議論（見当はずれの議論）が多くあるのではいか---？ 又，具体的に应用された例も少ないこともあって，これからの課題であること
- (4) 今日，機械化は国立大学の図書館を中心に問題となっているが，私立大学図書館への今後の対応について入心に関心を持つこと，等々，

以上の事が討論されました。

第2部は，立命館大学の若井氏より，今日，わが私立大学で初めて実施された，図書館の日曜南館を中心にした，学生の利用問題について具体的事例をおりまぜて報告されました。

学生からの要求にこたえて，図書館の日曜南館へふみきったいささづについての紹介があり，今日一丸軌道にのり，試験期にはかほりの入館数を示していきます。

又、立命館における小集団教育と図書館利用との関係について、いくつか模索中とのこと…。十分説明されていはいが、学生参加についてのこと、オリエンテーションの内容改善について、掲示板活用について、等々の日常活動についてどのように進めていくかが報告されました。

討論について、一つの特徴として京都において、国立大と私大の図書館について、利用問題についてかなりの違い(差…?)がでていることがわかりました。特に、利用問題—利用指導、案内—は、比較的、私大の図書館の方が具体的に方向が出しやすいのではないかと、という感じがしました。

(利用指導型活動図書館、資料保存型図書館、情報処理型図書館、官僚指導型図書館、人手不足問題過多絶望型図書館、等々…今日の大学図書館はどうも問題が多すぎて、利用問題について積極的にとりくむ時期では—あ—、という感想もうけた—Y.S)

各図書館の現状について、討論の中で貴重な意見交換があらわれました。

予告 第3回例会 6月16日(土). P.M. 2~

図書館の自由について

(予定) 報告者 酒井忠志氏 (京都市立大田)

第2回例会 ひらかれる。



NCR新版(予備版)について

報告者 吉野和夫(龍谷大)

4月21日(土)(PM 2~4:30) 府立婦人センターにて、第2回例会がひらかれ、20人の会員が参加しました。PR不足にもかかれず、第1回を上まわる会員の参加があったことは、目録業務、NCR新版の動きについて、現場で大きな関心を持っていることをものがたっています。

約100分に近い報告の後、討論に移りましたが若干時間不足で、さらにこの問題について次回の機会に討論をふかめていくことになりました。

まず、報告は、NCRの今日の成立にいたる歴史について、館界の動きを多く紹介しながら、簡潔にのべていき、10年ごとにNCRの規則が変ってきたこと、何故変化したか、どのような指図のもとに行なわれたか、図書館界の動向について報告がありました。

討論にうつり、まず、各大学の図書館(京大、立命館大、同志社大、龍谷大、池坊大、存立大、工繊大)の目録の運用状況を報告してもらい、NCR新版の受入についての問題点について積極的意見が述べられました。

報告者から、新版の合理性、妥当性についてコメントがあり、又、京都府立大の酒井さんから、戦後の図書館界の目録ものぐる図書館界の動きについて、いくつかエピソードが紹介されました。

10年ごとに、目録規則が変わり、将来どのようになるか といった疑問も出され、最後に、今日の図書館の現状（機械化、整理中心の「専門職」型図書館から版皮しに利用中心の図書館へ移行、他）との関連で、この新版移行の問題をひかめていくことが確認され、終会しました。

※ 第1, 2回の例会参加図書館は、京大附、各学部田、立命館大田、龍谷大田、同志社大田、池坊短大田、京都教育大田、京都府立大田、京都工繊大田、京大学生、以上です。

《 会員消息 》

新入 林 政子 (立命大)

転出 藤川俊三 (滋賀医大 → 阪大)

転入 岩本速雄 (阪大 → 滋賀医大)

世話人会	第5回	2月24日	京都教育大
	第6回	3月17日	京大
	第7回	4月21日	存立婦人センタ-
	第8回	5月19日	京大